

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.138; Cover, contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-01-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00008300

A Workshop Series for Intercultural Education: Towards Collaboration between Museums and Schools

学校と博物館でつくる
国際理解教育のワークショップ

学校と博物館でつくる
国際理解教育のワークショップ

Edited by

Yoko Ueba

Hirochika Nakamaki

Kyoko Nakayama

Takaaki Fujiwara

Takeo Morimo

上羽陽子・中牧弘允・中山京子
藤原孝章・森茂岳雄

編

上羽陽子

中牧弘允

中山京子

藤原孝章

森茂岳雄 編

National Museum of Ethnology
Japan 2016

ISSN 1340-6787
ISBN 978-4-906962-50-1 C3037



国立民族学博物館 2016

国立民族学博物館 調査報告

138

学校と博物館でつくる
国際理解教育のワークショップ

上羽陽子・中牧弘允・中山京子・藤原孝章・森茂岳雄 編

国立民族学博物館

2016

はじめに

博学連携教員研修ワークショップは2005年にはじまり、10年間継続された。本書はその成果報告であり、次の取り組みに向けてさらなる展望を開こうとするものである。多くの方々の協力のおかげで、本ワークショップは100人前後の参加者と40人ほどのスタッフが作りあげる国立民族学博物館（以下、民博）の伝統のひとつになった。

振り返ってみると、実に多彩なプログラムが用意され、すぐに教育現場で役立つものもあれば、じっくり思考を練り上げるものまで、豊かな内容に満ちていた。ワークショップ自体は基本的に1日ばかりだったが、その準備のために前日から大勢のスタッフが全国から駆けつけてくれた。

スタッフの中核は民博の共同研究「国立民族学博物館を活用した異文化理解教育のプログラム開発」（研究代表者：森茂岳雄、2003年度～2004年度）のメンバーで占められた。というのも、ワークショップ自体が共同研究の副産物として誕生したからである。共同研究は報告書の形でのまとまった成果（森茂岳雄編『国立民族学博物館を活用した異文化理解教育のプログラム開発』（国立民族学博物館調査報告56、2005年））にくわえ、エントランスホールにおいて実践から生まれた子どもたちの作品を展示した企画展「学校がみんぱくと出会ったら—博学連携の学びと子どもたちの作品展—」が開催された。さらにその関連で博学連携教員研修ワークショップが開催され、翌年からはワークショップだけが独立して開催されるようになったのである。

本報告書の目的は、10年間継続された博学連携教員研修ワークショップについて、その成果や問題点、反省点を明らかにすることである。そのため、本報告書は3部構成をとり、各部にはそれぞれガイダンスをつけ、成果と問題点を提示している。

第1部は「博学連携への扉」と題し、総論とも言うべき位置づけをあたえている。そこにはワークショップとともに行われた講演をもとにした論考も含まれている。第2部は「教員研修ワークショップ」という表題のもと、午後におこなわれた2時間ほどの分科会の実践を担当者が報告している。そこには協力者や参加者のコメントもあわせて掲載されている。第3部は「ワークショップをふりかえる」と題し、当日の「ふりかえり」を俎上にのせている。ワークショップはやりっぱなしではなく、教育の実をあげるには「ふりかえり」が大切であると認識されているからである。そして最後に、編者による座談会を開催し、問題点や反省点について自由に述べあっている。資料編としては、10年間のワークショップのプログラムと会場の写真を収録した。

ただし、午前におこなわれた講演、ならびに午後のワークショップのすべてが取り上げられているわけではない。みんぱくミュージアムパートナーズ（MMP）などによる博学連携の実践報告も割愛されている。予定しながら、諸般の事情で掲載に至らなかった

ものもある。

なお、第4回までの記録はすでに中牧弘允・森茂岳雄・多田孝志編『学校と博物館でつくる国際理解教育—新しい学びをデザインする』（明石書店、2009年）として公刊している。そのため本報告書は、その続編の役割を担っている。しかし、ただの続編ではない。本報告書は、これまでにはなかった新しい視点が加えられ、それが本報告書の特徴となっている。

博学連携教員ワークショップの運営において、大きく変わったことは、第4回目以降、運営メンバーに上羽陽子（国立民族学博物館）が加わったことである。上羽は、第4回目から実務参加し、第8回目からは代表を務め、ワークショップ実践に対する問題点に注目し、それらをスタッフ全員で共有することや反省することに重きをおいてきた。本報告書は、それらを踏まえて構成されている。

これまでの報告書は、実践者によるワークショップの報告が主であったが、そのような報告は、時に客観性に欠けることもある。そこで、本報告書では、すべてのワークショップ実践報告に対して、協力した立場から、民博教員を中心にコメントを付けている。なかには、研究者からの厳しい意見も明記されているが、このようなコメントは、ワークショップ運営において、スタッフ全員による共有やふりかえりがあったからこそ生まれたものである。計15本のコメントを掲載したことは、今後のワークショップ実践を考える上で貴重な資料となり、本報告書の資料的価値を上げている。

加えて新しい点は、これまでの報告書にはなかった「ワークショップをふりかえる（第3部）」を設けたことである。スタッフは回を重ねるなかで、「ふりかえり」の重要性を認識し、運営において重要視してきた。10年間実施した、「ふりかえり」を議論の俎上にあげていることも本書の特徴のひとつである。

さらに、運営を支えてきた編者5名による座談会の記録を加えたことが、本報告書の独自性を高めている。ここでは、途中から運営に参加した上羽の意見も加えて、10年間のワークショップの問題点を建設的に議論している。座談会というインタラクティブな形で問題点を洗い出し、提示していることは、本報告書刊行の意義のひとつでもある。

本報告書を土台にして、学校と博物館との連携の在り方についての議論と研究が、新たに始動することを願っている。

2016年5月

編者一同

目 次

はじめに	編者一同	1
------------	------	---

第1部 博学連携への扉

ガイダンス — 第1部	上羽 陽子	9
1.1 博物館と学校カリキュラム	田尻 信壹	11
1.2 文化人類学と学校をつなぐ — 国立民族学博物館の教育活動をふり返って	森茂 岳雄	21
1.3 博学連携教員研修ワークショップ10年のあゆみ	中山 京子	37
1.4 博学連携教員研修ワークショップ10年のマネジメント	中牧 弘允	47

第2部 教員研修ワークショップ「博物館を活用した国際理解教育」

ガイダンス — 第2部	上羽 陽子	57
2.1 一粒のカカオから	織田 雪江	59
コメント	鈴木 紀	67
2.2 「見方」を開発 — インドの染織資料が見えてくる	上羽 陽子	69
コメント	佐藤 優香	77
2.3 博物館資料を活用した教育実践の報告 — 「みんなぱっく」で教室と世界をつなごう！を事例に	呉屋 淳子	81
コメント：美術館からみる「『みんなぱっく』で 教室と世界をつなごう！」	横山 佐紀	89

2.4	歌と踊りで語り継ぐ南の島の物語	中山 京子・居城 勝彦・八代 健志	91
	コメント	林 勲男	97
	コメント：パフォーマンスを通じた伝統知識の教授 — フィジーの「天地創造」劇の活動から見た雑感	丹羽 典生	100
	Comment	Peter J. Matthews	102
2.5	みんなくシアター——ハンズオンからマインズオンへ	小林 由利子・森茂 岳雄・山本 直樹	103
	コメント：「みんなくシアター」の可能性と限界	菅瀬 晶子	110
	コメント：身体的に自覚すること — 自己と他者の理解に向けて	上羽 陽子	112
2.6	北西海岸先住民の木箱づくり	山田 幸生・木村 慶太	115
	コメント	岸上 伸啓	124
2.7	自分の希望を叶えるエケコ人形	木村 慶太・山田 幸生・中牧 弘允	125
2.8	「すごろく教材」で異文化理解	東峰 宏紀	133
	コメント：「すごろく教材」で異文化理解 — 学習環境の整備	宇治谷 恵	139
	コメント：「すごろく教材」で異文化理解	朝倉 敏夫	141
	コメント：「すごろく」のゲームで東アジアを往来する	韓 敏	143
2.9	ものづくりと iPad を用いた現地学習	今田 晃一	145
	コメント	林 勲男	153
	コメント	齋藤 玲子	155
	コメント：みんなくホームページと博学連携	宇田川 妙子	157

第3部 ワークショップをふりかえる

ガイダンス—第3部	上羽 陽子	161
3.1 ワークショップをふりかえる場づくり ……上田 信行・佐藤 優香・津山 直樹・古川 岳志・柴田 元		163
3.2 ことばのワークショップを評価の観点からふりかえる ……	吉村 雅仁	177
3.3 「再帰性」という視点からとらえる博学連携のこれから ……	津山 直樹	179
3.4 ワークショップから実践へ		
3.4.1 レインスティックで世界の旅にでかけよう	西 薫	183
3.4.2 チャモロダンスを踊ろう	高橋 実穂	191
3.4.3 「仮面づくり」ワークショップを振り返って	秋山 明之	195
3.4.4 ワークショップ「すごろく教材」で異文化理解に参加して ……	荒井 芳廣	199
3.4.5 ミュージアム資源の活用から地域資源の活用へ	菅沼 彰宏	203
3.5 ワークショップをアンケートからふりかえる	藤原 孝章	207
3.6 座談会「ワークショップ10年をふりかえって」 ……上羽 陽子・中牧 弘允・中山 京子・藤原 孝章・森茂 岳雄		229
資料 10年分のワークショップ・プログラム		247
おわりに	上羽 陽子	279
執筆者一覧		281

第1部
博学連携への扉

第2部

教員研修ワークショップ 「博物館を活用した国際理解教育」

第3部

ワークショップをふりかえる

資 料

10年分のワークショップ・プログラム

第1回プログラム 【2005年8月4日】

時 間	項 目	担当者	所 属
<1部>	講演とミュージアムツアー		
10:30	開会挨拶	松園万亀雄 米田 伸次	国立民族学博物館長 日本国際理解教育学会会長
10:40-11:00	提案 「国際理解教育における博学連携の意義と可能性」	森茂 岳雄	中央大学
11:00-12:00	民博の研究者によるミュージアムツアー アメリカ展示	中牧 弘允 八杉 佳穂	国立民族学博物館 国立民族学博物館
12:00-13:00	昼食&休憩		
<2部>	ワークショップ		
13:00-15:30	ワークショップ I：小学校部会		
	①砂絵を描こう	中山 京子	京都ノートルダム女子大学
	②太鼓を探そう	居城 勝彦	東京学芸大学附属世田谷小学校
	③お面で表現	佐藤 優香 八代 健志	国立歴史民俗博物館 茨木市立葦原小学校
	ワークショップ II：中学校部会		
	①博物館独自の学び		
	②博物館独自の学びを実感するために博物館をつくる		
	③竹製レイン・ツリーづくり —博物館の学びを実感	今田 晃一 木村 慶太 石井 洋一	文教大学 立命館守山中学校・高等学校 東大阪市弥刀中学校
	④ワークショップの感想から		
	⑤新しい研修のあり方として		
15:30-16:00	ワークショップ III：高等学校部会		
	国立民族学博物館の展示場を活用した課題レポート 作りの指導方法	田尻 信壹 柴田 元	富山大学 大阪府立豊島高等学校
15:30-16:00	まとめと講評	多田 孝志	日本国際理解教育学会実践委員会委員長



写真1 民博展示場を活用した課題レポート作りの指導方法



写真2 砂絵を描こう



写真3 竹製レイン・ツリーづくり



写真4 お面で表現

第2回プログラム 【2006年7月31日】

時 間	項 目	担当者	所 属
〈1部〉	講演とミュージアムツアー		
10:30	開会挨拶	松園万亀雄 米田 伸次	国立民族学博物館長 日本国際理解教育学会会長
10:40-11:00	国際理解教育の学びを『ひろげる』『つなげる』 — 博学連携の意義と可能性 —	森茂 岳雄	中央大学
11:00-11:15	仮面を使った教材開発の試み — 博学連携事例 —	佐藤 優香 八代 健志	国立歴史民俗博物館 茨木市立葦原小学校
11:15-11:35	経験のパブリッシング	上田 信行	同志社女子大学
11:35-12:15	民博の教員による仮面ギャラリートーク	中牧 弘允 林 勲男	国立民族学博物館 国立民族学博物館
12:15-13:15	昼食&民博展示自由見学		
〈2部〉	ワークショップ		
13:15-15:15	①みんなばくでバーム油と出会ったら!?	藤原 孝章 八杉 佳穂	同志社女子大学 国立民族学博物館
	②なりきりフォルクローレ	居城 勝彦 山本 紀夫	東京学芸大学附属世田谷小学校 国立民族学博物館
	③仮面をつくってかたって国際理解	八代 健志 秋山 明之 吉田 憲司	茨木市立葦原小学校 神戸市立楠高等学校 国立民族学博物館
	④ケータイで「みんなく異文化発見カルタ」づくり	田尻 信壹 柴田 元 中牧 弘允	富山大学 大阪府立豊島高等学校 国立民族学博物館
	⑤砂絵(点描画)でシンボリズム	中山 京子 松山 利夫	京都ノートルダム女子大学 国立民族学博物館
	⑥カリキュラム開発・マイ・アイデア	今田 晃一 木村 慶太 佐藤 優香 林 勲男	文教大学 香芝市立香芝西中学校 国立歴史民俗博物館 国立民族学博物館
15:15-15:45	各分科会からの報告		
15:45-16:00	講評	多田 孝志	日本国際理解教育学会副会長
16:00	閉会挨拶	中牧 弘允	国立民族学博物館
16:20	図書室ツアー		

2006年



写真5 仮面をつくってかたって国際理解



写真6 砂絵（点描画）でシンボリズム



写真7 ケータイで「みんなく異文化発見カルタ」づくり



写真8 なりきりfolklore

第3回プログラム 【2007年8月6日・7日】

時 間	項 目	担当者	所 属
<1部>	講演とミュージアムツアー	中牧 弘允	国立民族学博物館
13:00-13:10	開会挨拶	松園万亀雄 大津 和子	国立民族学博物館長 日本国際理解教育学会副会長
13:10-13:40	物が育てる異文化リテラシー — はじまりはいつも遊びから —	高橋 順一	桜美林大学
13:40-14:00	みんなばっく「ソウルスタイル」の紹介	朝倉 敏夫 佐藤 優香	国立民族学博物館 国立歴史民俗博物館
14:00-15:00	博学連携実践事例報告		
	事例1 ザグレブチェストを使った教材開発の試み	福本 謹一	兵庫教育大学
	事例2 仮面を使った教材開発の試み	秋山 明之	神戸市立楠高等学校
	事例3 特別展 「みんなばっくキッズワールド— こどもとおとなをつなぐもの—」からの総合的な学び	古川 岳志	吹田市立第一中学校
15:10-16:30	民博の教員によるギャラリートーク	朝倉 敏夫 杉本 良男 三島 禎子	国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館
<2部>			
10:30-10:50	みんなばっく「アラビアンナイトの世界」の紹介	西尾 哲夫 佐藤 優香	国立民族学博物館 国立歴史民俗博物館
11:00-13:45	みんなばっくで考えよう ESD カリキュラム	藤原 孝章 上田 信行 三島 禎子	同志社女子大学 同志社女子大学 国立民族学博物館
	明日からできる博学連携—『みんなばっく』を使ったカリキュラムのアイデアを出し合おう—	今田 晃一 木村 慶太 杉本 良男	文教大学 広陵町立広陵中学校 国立民族学博物館
	くさび形文字で自分の名前を書こう	森 若葉 八杉 佳穂 青柳 千子	総合地球環境学研究所 国立民族学博物館 元民博研究支援推進員
	100円ショップでネイティブ・アメリカン	高橋 順一 岩本 貴永	桜美林大学 桜美林大学アウトリーチ教育コーディネーター
<3部>			
14:00-14:30	『オセアニア大航海展』の見どころ、勘どころ	林 勲男	国立民族学博物館
14:30-16:00	ワークショップ		
	①パンダナス物語	織田 雪江 中山 京子 森茂 岳雄 ピーター・マシウス	同志社中学校 京都ノートルダム女子大学 中央大学 国立民族学博物館
	②身近な素材から音が生まれる時 — 竹でつながる太平洋の島々 —	居城 勝彦 八代 健志 寺田 吉孝	東京学芸大学附属竹早中学校 茨木市立葦原小学校 国立民族学博物館
	③「割り箸」で地図を作ろう — マーシャル諸島の海図作りを体験 —	田尻 信壹 山本 泰則	富山大学 国立民族学博物館
	④ケータイでオセアニアかるたづくり	柴田 元 林 勲男	大阪府立茨木西高等学校 国立民族学博物館
16:00-16:30	まとめと講評	多田 孝志	日本国際理解教育学会会長



写真9 くさび形文字で自分の名前を書こう



写真10 みんなで考えよう ESD カリキュラム

第4回プログラム 【2008年8月5日】

時 間	項 目	担当者	所 属
<1部>	講演とミュージアムツアー	中牧 弘允	国立民族学博物館
10:20-10:30	開会挨拶	松園万亀雄 多田 孝志	国立民族学博物館長 日本国際理解教育学会会長
10:30-11:00	国際理解教育とフィールドワーク —モノに出会う、人に出会う	大津 和子	北海道教育大学札幌校
11:00-11:20	国立民族学博物館を活用した博学連携の实践報告	林原 慎 加藤 謙一	なぎさ公園小学校前教諭 長崎歴史文化博物館
11:25-11:40	「みんなつっく」ができるまで	佐藤 優香	国立歴史民俗博物館
11:50-12:30	民博の教員によるミュージアムツアー	岸上 伸啓 佐々木利和 八杉 佳穂	国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館
12:30-13:30	昼食&展示自由見学		
<2部>			
13:30-15:20	ワークショップ		
	①私にとってのESD	藤原 孝章 上田 信行 南 真木人	同志社女子大学 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	②身近な素材から音が生まれる時	居城 勝彦 八代 健志 福岡 正太	東京学芸大学附属竹早中学校 茨木市立葦原小学校 国立民族学博物館
	③ひとかけらのチョコレートから	織田 雪江 八杉 佳穂	同志社中学校 国立民族学博物館
	④先住民とわたし	中山 京子 森茂 岳雄 岸上 伸啓 佐々木利和	京都ノートルダム女子大学 中央大学 国立民族学博物館 国立民族学博物館
⑤「みんなつっく」を使ったカリキュラム開発	今田 晃一 木村 慶太 日比野 功 山田 幸生 佐藤 優香 林 勲男	文教大学 立命館守山中学校 東大阪市教育委員会 香芝市立鎌田小学校 国立歴史民俗博物館 国立民族学博物館	
15:30-15:50	映像でふりかえる講評	上田 信行 多田 孝志	同志社女子大学 日本国際理解教育学会会長
15:50-16:00	アンケート記入		
16:00	閉会挨拶	森茂 岳雄	中央大学

2008年



写真11 民博の教員によるミュージアムツアー



写真12 ひとかけらのチョコレートから



写真13 「みんぱっく」を使ったカリキュラム開発



写真14 身近な素材から音が生まれる時

第5回プログラム 【2009年8月4日】

時 間	項 目	担当者	所 属
<1部>	講演とミュージアムツアー	中牧 弘允	国立民族学博物館
10:20-10:30	開会挨拶	須藤 健一 大津 和子	国立民族学博物館長 日本国際理解教育学会副会長
10:30-11:00	素材から教材へ—開発教育と民博—	藤原 孝章	同志社女子大学
11:00-11:15	新「みんぱく」〈アイヌ文化にであう〉の紹介	佐々木利和	国立民族学博物館
11:15-11:30	みんぱくミュージアムパートナーズ (MMP) による博 学連携の取組みに関する報告	MMP	
11:40-12:15	民博の教員によるミュージアムツアー アフリカ展示・西アジア展示	竹沢尚一郎 川口 幸也 上羽 陽子	国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館
12:15-13:30	昼食&展示自由見学		
<2部>	ワークショップ		
13:30-15:20	①北西海岸先住民の木箱づくり	木村 慶太 山田 幸生 岸上 伸啓 宇治谷 恵	立命館守山中学校 香芝市立鎌田小学校 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	②仮面をつくって語って異文化理解	秋山 明之 笹原 亮二 五月女賢司	神戸市立楠高等学校 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	③モノからひらめくモノコード	居城 勝彦 八代 健志 寺田 吉孝	東京学芸大学附属竹早中学校 茨木市立葦原小学校 国立民族学博物館
	④ひとかけらのチョコレートから	織田 雪江 八杉 佳穂 鈴木 紀	同志社中学校 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	⑤ to 私 from 私 — 標本資料のふるさとからの便り —	田尻 信壹 上羽 陽子	富山大学 国立民族学博物館
15:30-15:50	映像でふりかえる講評	大津 和子 上田 信行	日本国際理解教育学会副会長 同志社女子大学
15:50-16:00	アンケート記入		
16:00	閉会挨拶	森茂 岳雄	中央大学
16:00-16:45	民博図書室見学		

2009年

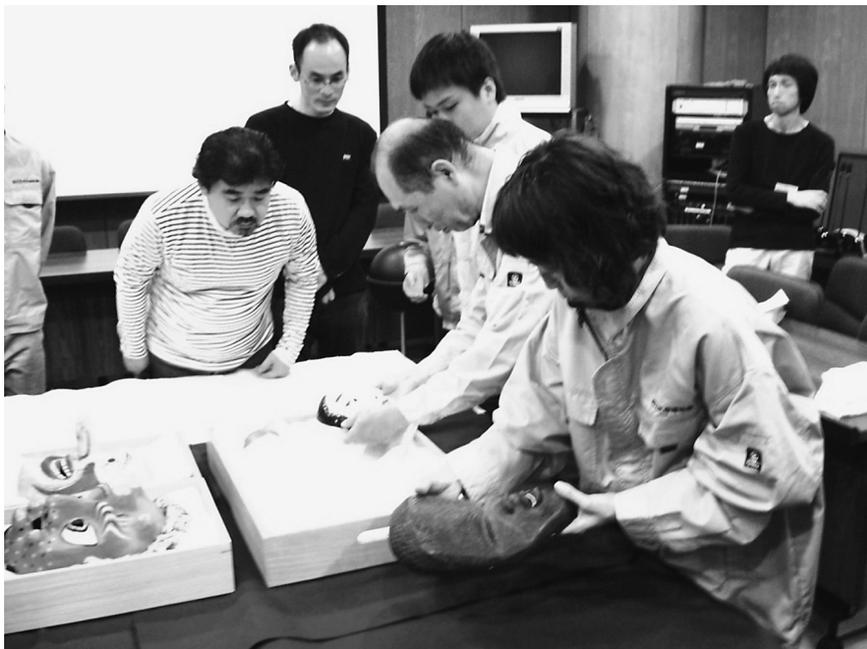


写真15 仮面をつくって語って異文化理解



写真16 北西海岸先住民の木箱づくり



写真17 to 私 from 私 — 標本資料のふるさとからの便り



写真18 to 私 from 私 — 標本資料のふるさとからの便り

第6回プログラム 【2010年8月5日】

時 間	項 目	担当者	所 属
<1部>	講演とミュージアムツアー	中牧 弘允	国立民族学博物館
10:20	開会挨拶	須藤 健一 大津 和子	国立民族学博物館長 日本国際理解教育学会会長
10:30-11:00	世界遺産教育と博物館の活用	田淵五十生	奈良教育大学
11:00-11:15	日本版みんなぱくをマレーシアへ	山田 幸生	葛城市立磐城小学校
11:15-11:30	みんなぱくミュージアムパートナーズ (MMP) による特別支援学校受け入れ実践の紹介	山田美知子 五月女賢司	MMP 国立民族学博物館
11:40-12:30	民博の教員によるミュージアムツアー 西アジア展示・音楽展示・言語展示	上羽 陽子 笹原 亮二 八杉 佳穂 菊澤 律子	国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館
12:30-13:30	昼食&展示自由見学		
<2部>	ワークショップ		
13:30-15:20	①民博のデジタル・コンテンツを利用した授業づくり	今田 晃一 日比野 功 長田 朋之 林 勲男	文教大学 東大阪市教育委員会 光塩女子学院小学校 国立民族学博物館
	②仮面をつくって語って異文化理解	秋山 明之 笹原 亮二 五月女賢司	神戸市立楠高等学校 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	③「思いを込めた音」って何だろう？	居城 勝彦 八代 健志	東京学芸大学附属世田谷小学校 茨木市立三島小学校
	④ことばの不思議・魅力	中山 京子 八杉 佳穂 菊澤 律子	帝京大学 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	⑤裏側みせます —「じゅうたんをつくろう！」を通して	チームじゅうたん 上羽 陽子	MMP 国立民族学博物館
	⑥コーヒーモノガタリ—みんなぱく篇—	織田 雪江 西尾 哲夫	同志社中学校・高等学校 国立民族学博物館
	⑦アフリカ・アカン系民族「砂金秤の分銅」づくり	木村 慶太 山田 幸生 吉田 誠 川口 幸也	立命館守山中学校・高等学校 葛城市立磐城小学校 奈良教育大学 国立民族学博物館
15:30-15:50	映像でふりかえる講評	多田 孝志 佐藤 優香	目白大学 国立歴史民俗博物館
15:50-16:00	アンケート記入		
16:00	閉会挨拶	森茂 岳雄	中央大学
16:15-17:00	参加者&スタッフのカフェ懇談会		



写真19 民博の教員によるミュージアムツアー



写真20 「思いを込めた音」って何だろう？



写真21 民博のデジタル・コンテンツを利用した授業づくり



写真22 アフリカ・アカン系民族「砂金秤の分銅」づくり

第7回プログラム 【2011年8月5日】

時 間	項 目	担当者	所 属
<1部>	講演とミュージアムツアー	中牧 弘允	国立民族学博物館
10:20	開会挨拶	須藤 健一 大津 和子	国立民族学博物館長 日本国際理解教育学会会長
10:30-11:00	基調講演 博物館と歴史の授業 —新学習指導要領に盛り込まれた博物館の活用—	田尻 信壹	共立女子大学
11:00-11:15	みんなっくを使った授業事例について	海上 尚美	東京都立一橋高等学校
11:15-11:30	みんなくミュージアムパートナーズ (MMP) による 博学連携の実践	大路、清岡 五月女賢司 関根 理恵	MMP 吹田市立博物館 国立民族学博物館
11:40-12:30	民博の教員によるミュージアムツアー オセアニア展示・アメリカ展示	丹羽 典生 八杉 佳穂 中牧 弘允 伊藤 敦規	国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館
12:30-13:30	昼食&展示自由見学		
<2部>	ワークショップ		
13:30-15:30	①民博のデジタル・コンテンツを利用した授業づくり	今田 晃一 宇治谷 恵 長田 朋之 宇田川妙子	文教大学 中部大学 光塩女子学院小学校 国立民族学博物館
	②仮面をつくって語って異文化理解	秋山 明之 笹原 亮二 関根 理恵	神戸市立楠高等学校 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	③歌と踊りで語りつくす南の島の物語	居城 勝彦 八代 健志 中山 京子 丹羽 典生	東京学芸大学附属世田谷小学校 茨木市立三島小学校 帝京大学 国立民族学博物館
	④自分の希望を叶えるエケコ人形	木村 慶太 山田 幸生 中牧 弘允	立命館守山中学校 葛城市立磐城小学校 国立民族学博物館
	⑤ことばで「世界」を見てみよう	織田 雪江 庄司 博史	同志社中学校・高等学校 国立民族学博物館
	⑥「見方」を開発 —インドの染織資料が見えてくる	佐藤 優香 上羽 陽子	国立歴史民俗博物館 国立民族学博物館
15:40-16:45	映像&講評 参加者&スタッフのカフェ懇談会	藤原 孝章 上田 信行	日本国際理解教育学会副会長 同志社女子大学
16:45-16:55	アンケート記入		
16:55-17:00	閉会挨拶		

2011年

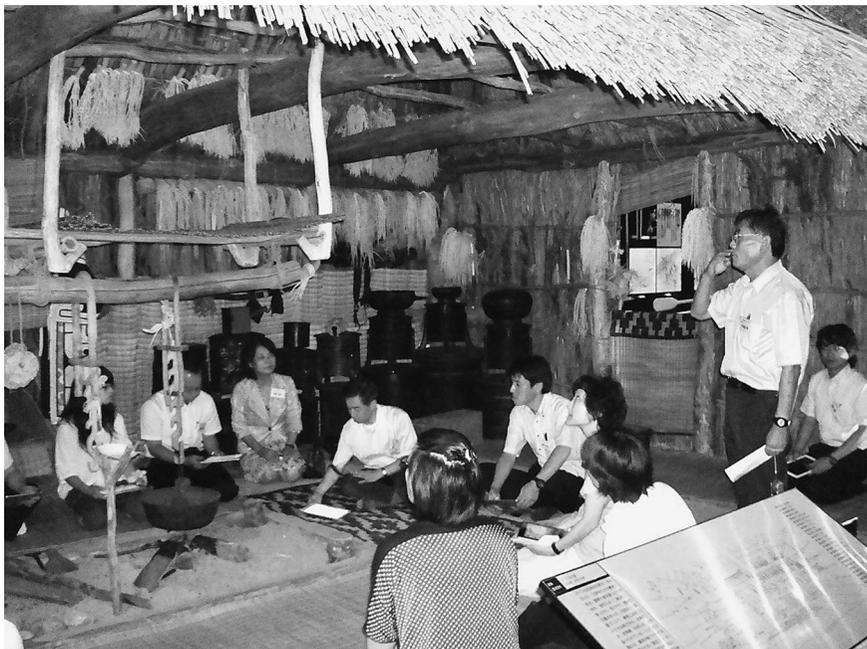


写真23 民博のデジタル・コンテンツを利用した授業づくり



写真24 歌と踊りで語りつぐ南の島の物語



写真25 「見方」を開発—インドの染織資料が見えてくる



写真26 ことばで「世界」を見てみよう

第8回プログラム 【2012年8月7日】

時 間	項 目	担当者	所 属
<1部>	講演とミュージアムツアー	小林 繁樹	国立民族学博物館
10:20	開会挨拶	須藤 健一 森茂 岳雄	国立民族学博物館長 日本国際理解教育学会副会長
10:30-11:00	基調講演 「博学連携による博物館の活用」	中牧 弘允	国立民族学博物館名誉教授・ 吹田市立博物館
11:00-11:20	MMP(みんなくミュージアムパートナーズ)による視 覚障害者/支援学校対応の取り組み	MMP 呉屋 淳子	国立民族学博物館
11:30-12:10	民博の教員によるミュージアムツアー ヨーロッパ展示・探究ひろば	森 明子 広瀬浩二郎	国立民族学博物館 国立民族学博物館
12:10-13:20	昼食+展示場「みんなくく モンゴル—草原のか おりをたのしむ」自由見学		
<2部>	ワークショップ		
13:30-15:20	①仮面をつくって語って異文化理解	秋山 明之 笹原 亮二 呉屋 淳子	神戸市立楠高等学校 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	②歌と踊りで語りつく南の島の物語Ⅱ	居城 勝彦 八代 健志 中山 京子 林 勲男	東京学芸大学附属世田谷小学校 茨木市立三島小学校 帝京大学 国立民族学博物館
	③さわっておどろく「手学問のすゝめ」	広瀬浩二郎 五月女賢司	国立民族学博物館 吹田市立博物館
	④民博シアター：展示から劇活動へ	小林由利子 山本 直樹 黒岩 啓子 森茂 岳雄 菅瀬 晶子	東京都市大学 有明教育芸術短期大学 Learning Innovation Network 中央大学 国立民族学博物館
	⑤「すごろく教材」で異文化理解	東峰 宏紀 宇治谷 恵 朝倉 敏夫	恵庭市立若草小学校 中部大学 国立民族学博物館
	⑥織機のカラクリ大発見	木村 慶太 山田 幸生 吉田 誠 MMP 上羽 陽子	立命館守山中学校・高等学校 葛城市立磐城小学校 奈良教育大学 国立民族学博物館
	⑦学芸員になる！世界子ども環境ポスター展づくり	佐藤 優香 久保 正敏	東京大学 国立民族学博物館
15:30-15:50	各ワークショップ担当者&参加者のコメント		
15:50-16:10	映像&講評	藤原 孝章 上田 信行 今田 晃一	同志社女子大学 同志社女子大学 文教大学
16:10-16:45	参加者&スタッフのカフェ懇談会		
16:45-16:55	アンケート記入		
16:55-17:00	閉会挨拶	朝倉 敏夫	国立民族学博物館



写真27 民博シアター：展示から劇活動へ



写真28 歌と踊りで語りつぐ南の島の物語Ⅱ



写真29 「すごろく教材」で異文化理解



写真30 参加者&スタッフのカフェ懇談会

第9回プログラム 【2013年8月6日】

時 間	項 目	担当者	所 属
<1部>	講演とミュージアムツアー	上羽 陽子	国立民族学博物館
10:20	開会挨拶	須藤 健一 森茂 岳雄	国立民族学博物館長 日本国際理解教育学会副会長
10:30-11:00	基調講演 「博学連携教員研修ワークショップ8年のあゆみ —センセイもたのしむ—」	中山 京子	帝京大学
11:00-11:20	MMP(みんなくミュージアムパートナーズ)による 「わくわく体験inみんなく」への取り組み	MMP	
11:30-12:10	民博の教員によるミュージアムツアー 東アジア展示・日本の文化 企画展「アマゾンの生き物文化」 企画展「武器をアートに —モザンビークにおける平和構築」	笹原 亮二 中牧 弘允 吉田 憲司	国立民族学博物館 国立民族学博物館名誉教授・吹田市立博物館 国立民族学博物館
12:10-13:20	昼食+展示場「みんなく」自由見学		
<2部>	ワークショップ		
13:20-15:20	①みんなくシアター： 展示の登場人物になってみよう！	小林由利子 山本 直樹 森茂 岳雄 菅瀬 晶子	東京都市大学 有明教育芸術短期大学 中央大学 国立民族学博物館
	②「フェアトレード」ってなあに？	織田 雪江 鈴木 紀	同志社中学・高等学校 国立民族学博物館
	③「みんなく」で世界と教室をつなごう！	呉屋 淳子 東 真理子	国立民族学博物館 大阪教育大学附属平野小学校
	④「ことばへの目覚め」のための教材開発	吉村 雅仁 岩坂 泰子 中牧 弘允 菊澤 律子	奈良教育大学 奈良教育大学 国立民族学博物館名誉教授・吹田市立博物館 国立民族学博物館
	⑤ものづくりとiPadを用いた現地学習	今田 晃一 木村 慶太 山田 幸生 齋藤 玲子	文教大学 立命館守山中学校・高等学校 葛城市立磐城小学校 国立民族学博物館
	⑥すごろく教材で異文化理解	東峰 宏紀 宇治谷 恵 韓 敏 朝倉 敏夫	恵庭市立若草小学校 中部大学 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	⑦歌と踊りで語りつくす南の島の物語Ⅲ	居城 勝彦 八代 健志 中山 京子 ピーター・マシウス	東京学芸大学附属世田谷小学校 茨木市立三島小学校 帝京大学 国立民族学博物館
15:30-15:50	各ワークショップ担当者&参加者のコメント		
15:50-16:00	講評	中牧 弘允 黒岩 啓子	国立民族学博物館名誉教授・吹田市立博物館 Learning Innovation Network
16:10-16:45	カフェ懇談会&映像	上田 信行 佐藤 優香	同志社女子大学 東京大学
16:45-16:55	全体アンケート記入		
16:55-17:00	閉会挨拶	朝倉 敏夫	国立民族学博物館

2013年



写真31 ものづくりとiPadを用いた現地学習



写真32 「フェアトレード」ってなあに？



写真33 「ことばへの目覚め」のための教材開発



写真34 講評およびカフェ懇談会&映像

第10回プログラム 【2014年8月6日】

時 間	項 目	担当者	所 属
<1部>	講演とミュージアムツアー	上羽 陽子	国立民族学博物館
10:20-10:30	開会挨拶	須藤 健一 藤原 孝章	国立民族学博物館長 日本国際理解教育学会会長
10:30-11:00	基調講演 「文化人類学と学校現場をつなぐ —みんぱくの教育活動をふりかえって」	森茂 岳雄	中央大学
11:00-11:20	支援学校対応の紹介とワークショップ活動を取り入れた小学校での実践報告	山口 美保 三宅 敬子	MMP MMP
11:30-12:10	民博の教員によるミュージアムツアー 東アジア展示 「朝鮮半島の文化」 「中国地域の文化」 「沖縄のくらし」 「多みんぞくニホン」	朝倉 敏夫 横山 廣子 呉屋 淳子 菅瀬 晶子	国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館 国立民族学博物館
12:10-13:20	昼食+展示場「みんぱく」自由見学		
<2部>	ワークショップ		
13:20-15:20	①みんぱくシアター： 「多みんぞくニホン」を体感する	小林由利子 森茂 岳雄 山本 直樹 菅瀬 晶子 上羽 陽子	東京都市大学 中央大学 有明教育芸術短期大学 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	②一粒のカカオ豆から	織田 雪江 鈴木 紀	同志社中学・高等学校 国立民族学博物館
	③「みんぱく」で世界と教室をつなごう！	八代 健志 横山 佐紀 呉屋 淳子	茨木市立三島小学校 国立西洋美術館 国立民族学博物館
	④ことばと文化への目覚め	吉村 雅仁 岩坂 泰子 中牧 弘允 八杉 佳穂	奈良教育大学 奈良教育大学 国立民族学博物館名誉教授・吹田市立博物館 国立民族学博物館
	⑤すぐろく教材で異文化理解	東峰 宏紀 横山 廣子 朝倉 敏夫	北広島市立双葉小学校 国立民族学博物館 国立民族学博物館
	⑥モノとの対話—何が聞こえる？何が見える？	黒岩 啓子 秋山 明之 古川 岳志 吉田 憲司	Learning Innovation Network 神戸市立楠高等学校 吹田市立第一中学校 国立民族学博物館
15:20-15:40	リフレクション		
15:40-15:50	会場移動		
15:50-16:30	カフェ懇談会	上田 信行 中牧 弘允	同志社女子大学 吹田市立博物館
16:30-16:45	フィード・フォワード	成田喜一郎	東京学芸大学大学院
16:45-16:55	アンケート記入		
16:55-17:00	閉会挨拶	野林 厚志	国立民族学博物館

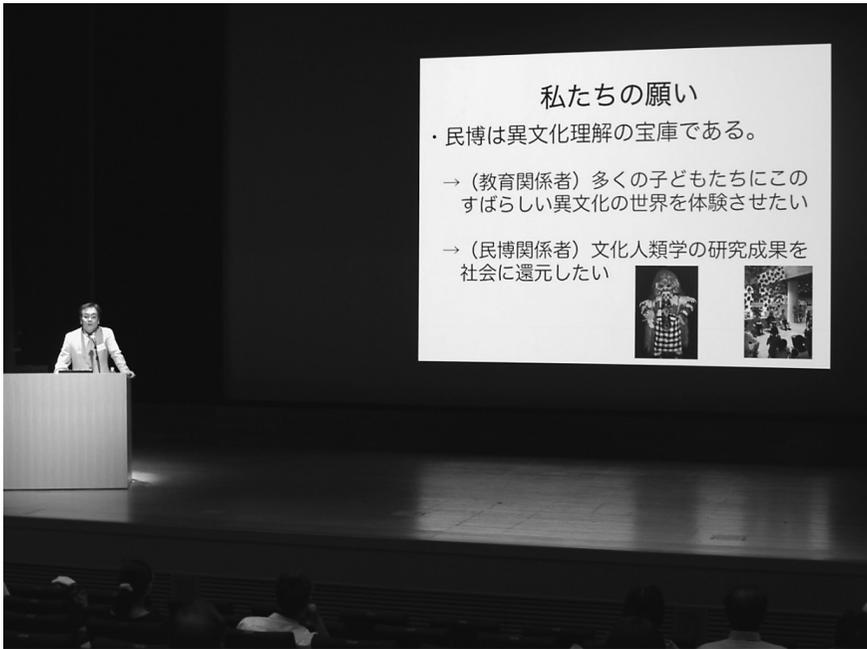


写真35 基調講演



写真36 ことばと文化への目覚め



写真37 「みんぱっく」で世界と教室をつなごう！



写真38 民博の教員によるミュージアムツアー



写真39 フィード・フォワード

海洋文化館における博学連携教員研修ワークショップ【2007年3月3日・4日】

時 間	項 目	担当者	所 属
3月3日			
15:00-17:00	①アダン（タコノキ）の葉を使った沖縄民具製作のワークショップ	大村 茂治	古老 本部町在住
3月4日			
10:00-10:10	趣旨説明	中牧 弘允	国立民族学博物館
10:10-11:00	②チェチェメニ号記録映像の上映解説会 「チェチェメニ号ー沖縄海洋文化館と民博をつなぐもの」	林 勲男	国立民族学博物館
11:10-11:40	③海洋文化館ガイドツアー	上江洲安亨	財海洋博覧会記念公園管理財団
11:50-12:35	④タコノキの葉を使ったオセアニア地域の民具製作ワークショップ	織田 雪江 加藤 謙一 中山 京子 東恩納 巧 ピーター・マシウス	同志社中学校 国立民族学博物館 京都ノートルダム女子大学 豊見城市立とよみ小学校 国立民族学博物館
13:35-14:20	⑤竹を使った打楽器演奏ワークショップ	秋山 明之 居城 勝彦 八代 健志	神戸市立楠高等学校 東京学芸大学附属世田谷小学校 茨木市立葦原小学校
14:35-15:35	⑥総合討論	司会： 森茂 岳雄 パネリスト： 上江洲安亨 佐藤 優香 東恩納 巧 藤原 孝章 八杉 佳穂 WS④代表者 WS⑤代表者	中央大学 財海洋博覧会記念公園管理財団 国立歴史民俗博物館 豊見城市立とよみ小学校 同志社女子大学 国立民族学博物館



写真40 アダン（タコノキ）の葉を使った沖縄民具製作

執筆一覽

●編者

上羽陽子	国立民族学博物館
中牧弘允	国立民族学博物館名誉教授・吹田市立博物館
中山京子	帝京大学
藤原孝章	同志社女子大学
森茂岳雄	中央大学

●執筆者（執筆順）

田尻信壹	目白大学
織田雪江	同志社中学校・高等学校
鈴木紀	国立民族学博物館
佐藤優香	東京大学
呉屋淳子	山形大学
横山佐紀	国立西洋美術館
居城勝彦	東京学芸大学附属高等学校
八代健志	福井大学
林勲男	国立民族学博物館
丹羽典生	国立民族学博物館
Peter J. Matthews	国立民族学博物館
小林由利子	東京都市大学
山本直樹	有明教育芸術短期大学
菅瀬晶子	国立民族学博物館
山田幸生	関西大学初等部
木村慶太	立命館宇治高等学校
岸上伸啓	国立民族学博物館
東峰宏紀	平取町立平取小学校
宇治谷恵	中部大学民族資料博物館
朝倉敏夫	国立民族学博物館名誉教授・立命館大学
韓敏	国立民族学博物館
今田晃一	文教大学
齋藤玲子	国立民族学博物館

宇田川 妙子	国立民族学博物館
上田 信行	同志社女子大学
津山 直樹	中央大学大学院
古川 岳志	吹田市立第一中学校
柴田 元	大阪府立茨木西高等学校
吉村 雅仁	奈良教育大学
西 薫	岐阜県瑞穂市立生津小学校
高橋 実穂	茨木市立中条小学校
秋山 明之	神戸市立神戸工科高等学校
荒井 芳廣	大妻女子大学
菅沼 彰宏	公益財団法人かながわ国際交流財団

Senri Ethnological Reports (最新号)

当館のウェブサイトにてバックナンバーのPDFをダウンロードすることができます。

<https://minpaku.repo.nii.ac.jp/>

- No.137 伝統知、記憶、情報、イメージの再収集と共有 — 民族誌資料を用いた協働カタログ制作の課題と展望 (2016; 伊藤敦規編; 日本語・英語)
- No.136 中国地域の文化遺産 — 人類学の視点から (2016; 河合洋尚・飯田 卓編; 日本語)
- No.135 Культура народов Сибири и Дальнего Востока в музейных коллекциях России и Японии методы сбора, учета, хранения и экспозиции (2016; Ред. Шагланова Ольга А., Сасаки Сиро (シヤグラノヴァ О. А.・佐々木史郎編); ロシア語)
- No.134 国立民族学博物館所蔵 鍋沢元蔵ノートの研究 (2016; 中川 裕・遠藤志保編; 日本語)
- No.133 *An Audiovisual Exploration of Philippine Music: The Historical Contribution of Robert Garfias* (2016; ed. Terada Yoshitaka; 英語)
- No.132 環北太平洋地域の先住民文化 (2015; 岸上伸啓編; 日本語)
- No.131 カナダ先住民芸術の歴史的展開と現代的課題 — 国立民族学博物館所蔵のイヌイットおよび北西海岸先住民の版画コレクションをとおして (2015; 齋藤玲子編; 日本語)
- No.130 梅棹忠夫の内モンゴル調査を検証する (2015; 娜仁格日勒編; 日本語)
- No.129 *Asian Museums and Museology 2014: International Workshop on Asian Museums and Museology in Thailand* (2015; eds. Naoko Sonoda, Kyonosuke Hirai, Jarunee Incherdchai; 英語)
- No.128 *Культурное наследие бурят, эвенков и семейских: Предметы материальной и духовной культуры из коллекций Этнографического музея народов Забайкалья (Республика Бурятия, Россия)* (2015; Шагланова Ольга А., Сасаки Сиро (シヤグラノヴァ О. А.・佐々木史郎編); ロシア語・英語)
- No.127 近代社会における指導者崇拜の諸相 (2015; 韓敏編; 日本語)
- No.126 バウイナング・アボリジナル組合の議事録 (1978～1994) から見る対アボリジニ政策とインフラ整備の歴史 — マニングリダと周辺アウトステーションの活動史 (2015; 久保正敏・堀江保範編著; 日本語)
- No.125 *Asian Museums and Museology 2013: International Research Meeting on Museology in Myanmar* (2015; eds. Naoko Sonoda, Katsumi Tamura, Nu Mra Zan; 英語)
- No.124 土方久功日記V (2014; 土方久功著, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)

[国立民族学博物館刊行物審査委員会]

須藤健一 館長
西尾哲夫 副館長
吉田憲司 副館長
園田直子 民族社会研究部
池谷和信 民族文化研究部
關 雄二 先端人類科学研究部
鈴木七美 研究戦略センター（研究出版委員長）
野林厚志 文化資源研究センター

平成28年12月16日発行

国立民族学博物館調査報告 138

編者 上 羽 陽 子
中 牧 弘 允
中 山 京 子
藤 原 孝 章
森 茂 岳 雄

発行 人間文化研究機構
国立民族学博物館
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL. 06(6876)2151(代表)

印刷 株式会社 遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL. 06(6304)9325(代表)
